

# 学校だより

よく考え 励まし合って

よく考える子

励まし合う子

やりぬく子

やりぬく子



TEL : 69-2029 FAX : 69-4448 HP-URL : <http://www.tanpopo.ne.jp/~ohyabu/index.htm>

## 新学期が始まりました

風に舞う花吹雪が目眩しい今日この頃、47名の新生を迎え、全校児童274名で、平成28年度が始まりました。どの子も新入学・進級の希望に満ちあふれた笑顔で登校しました。すがすがしさを感じました。

子どもたちが元気に登校できることは、決して当たり前のことではなく、本人の努力・決意だけでなく、ご家族の支援、地域からの励ましの結果です。心から感謝申し上げます。

私は、本年度より校長としてお世話になることになりました小椋英吏（おぐらひでし）と申します。保護者の皆さんや地域の皆さんの期待に応え、「誰もが誇れる大藪小学校」を目指し、全職員で「よく考え、励まし合って、やりぬく子」の育成に向けて精一杯努力をしていきます。

何かご不明な点、気になる点がございましたら、気軽にご相談ください。お子さんにとって一番よい方法を一緒に考えながら共に歩んでいきたいと思っております。

また、地域や家庭での、子どもたちの「よい姿」「誇れる姿」も積極的にお知らせください。その姿を紹介していくことによって「誰もが誇れる大藪小学校」に近づきたいと考えています。

特に、挨拶についての「よい姿」をお待ちしております。本日は、私からも、最近出会った挨拶の話題をひとつお話しします。

朝、私が家を出る頃、数名の登校途中の中学生に出会います。どこの家の子か、名前も知らない生徒たちですが、私はどの子にも「おはようございます。」と笑顔で挨拶をしています。それに対し、私に負けない元気な声で「おはようございます！」と言う子や、恥ずかしそうに笑顔で返す子、会釈をする子、様々な挨拶を返してくれます。

ここまでなら、当たり前の風景なのですが、その中の1人の男子生徒が、ある日母親に次のように言ったらしいのです。

「登校している途中で、挨拶をしてくれるおじさんがいる。母さんとけんかして、いやな気持ちで登校したり、学校のことで落ち込んでいるときに、そのおじさんに挨拶されると心がスッキリして気分よく登校できる。」と。

この母親は、私の妹が経営する美容院のお客さんであり、来店した際に髪の毛を切ってもらいながら、そのことを話題にしたそうです。

母親の話を聞きながら私の妹は、そのおじさんの様子や、家の場所が明らかになっていくうちに、「その家は私の実家だから、挨拶するおじさんは兄だ。」と気づき、驚きつつも「それ、私の兄ちゃん。」と伝えたそうです。不思議な縁です。

しばらくして、私も妹の美容院へ行き、髪の毛を切ってもらいながらその話を聞いたのです。私は、「やはり挨拶には人を元気にする力がある。」と確信すると同時に、思春期そして反抗期まっただ中でありながら、このようなことを家族に話せるとは、なんと素晴らしい中学生だと思いました。

そんなことがあった3月末、私は大藪小学校に勤務することとなり、引き継ぎのために来校しました。車を止める場所が分からず、うろうろしていた私の近くを、こども園への送迎の方や、乳母車の赤ちゃんを連れた若いお母さんが通り過ぎました。

どのお母さんも、明るく挨拶をしてくださいました。不安な気持ちが、すーっと無くなっていきました。ありがとうございました。